

年 組 () 名前

サイン



フジバカマの蜜を吸うアサギマダラ（山形市神尾の市野草園で）

◆ やまがたし 山形市でチョウが「あき 秋の七草」として知られる花の蜜をすっていました。

渡りチョウ 長旅へ支度

山形 やまがた

「渡りチョウ」として知られ、2000キ・メートル以上も移動するアサギマダラが、山形市神尾の市野草園に飛来している。

アサギマダラは茶と青のまだら模様の羽の大きさが5〜6センチのチョウで、夏を蔵王高原などで過ごす。秋から冬にかけて沖縄や台湾まで南下する。

秋に南へ移動するときと同園を通るといい、9月下旬が飛来のパーク。秋の七草にも数えられる同園のフジバカマの蜜を目当てに、多い日には約60匹が一度に集まる。19日には薄紫色のフジバカマの花に集まるアサギマダラを目当てに、多くの人がカメラを持って足を運んでいた。

【1】チョウがとまっている花の名前をかきましょう。

(2025年9月26日 読売新聞山形版より)

せんせい ひと
※先生やおうちの人と
いっしょによみましょう

【2】「秋の七草」は、写真の花のほか、ハギ、ススキ、クズ、ナデシコ、オミナエシ、キキョウです。身の回りでさがして、絵をうらにかきましょう。

年 組 () 名前

◆町全体を未来都市の実験場にする「ウーブン・シティ」が、静岡県裾野市にオープンしました。
(2025年10月3日 読売中高生新聞より)

トヨタ ウーブン・シティ開業

経済

未来都市はこんな感じ!?!
実用化を目指す製品やサービスの実験や開発を行う「ウーブン・シティ」が9月25日、静岡県裾野市にオープンした。トヨタ自動車が建設した「実証都市」で、異業種の企業や個人も参画し、自動運転をはじめ幅広い実験が行われる。

最新技術を実験・開発

ウーブン・シティは2020年、当時の豊田章男社長（現会長）が発表した構想が原点。「ウーブン」は「織り込まれた」という意味の英語で、さまざまな視点や能力を「織り込む」という思いが込められている。

今回開業したのは、総計画面積29万4000㎡のうち4万7000㎡で、トヨタ社員らが実際に住んでそれぞれの



開業したウーブン・シティの第1期エリア（静岡県裾野市で、本社へから）

ミッションに挑む。

なかでも注目されるのが、自動運転技術の開発。トヨタは27年度にも「人が運転に関わらない車」の発売を目指している。規制が多い公道と違って、ウーブン・シティでは道路にセンサーなどを設置できるため、実験の自由度が上がり、技術開発の加速が期待される。

1人乗り電動3輪車両の走行実験や、自動配送ロボットが荷物を運び、各家庭に届ける実験なども行われるという。



ウーブン・シティの道路を走る1人乗りの電動3輪車両

トヨタは、各社の技術や知見を連携させ、新しい製品などの開発につなげたい考えで、記念式典に出席した豊田会長は「ここは街というより未来のためのテストコース。ウーブン・シティで『掛け算』を起こす」と意気込んでいた。

【1】「ウーブン・シティ」では、どのような実験や開発が行われますか。記事から読み取って書きましょう。

【2】あなたが住む町に、将来、どのような最新技術を取り入れたモノやサービスがあったらいいと思いますか。書きましょう。

年 組 () 名前

サイン

◆今年のノーベル生理学・医学賞に大阪大学特任教授の坂口志文さん(74)とアメリカの研究者ら3人が選ばれました。

(2025年10月10日 読売中高生新聞より)



記者会見で笑顔を見せる坂口さん(6日、大阪府吹田市で)



ノーベル生理学・医学賞に坂口さん

坂口さんの研究分野は、病原体などの異物に反応して自分の体を守る「免疫」という機能だ。

免疫細胞の中には、体に侵入した病原体を「敵」とみなして活動する「T細胞」がある。白血球の一種で、心臓の近くの「胸腺」(英語で「Thymus」)で作られる。

T細胞の中には、病原体などの異物を「敵」とみなせず、自分の正常な細胞を攻撃するなどして、リウマチや糖尿病などの病気を引き起こすものもある。

【1】坂口さんは体を守る「免疫」の機能の研究で、どのような役割を果たす細胞を見つけましたか。記事から読み取って書きましょう。

【発展問題】坂口さんの経歴などを他のニュースで調べ、坂口さんがどのような苦労や努力を積み重ねてきたか、裏に書きましょう。

年 組 () 名前

サイン

◆「建築界のノーベル賞」とも呼ばれるプリツカー建築賞を昨年受賞した、山本理顕さんの仕事を紹介した展覧会が、代表作のひとつ横須賀美術館(神奈川県)で開かれています。

「コミュニティなしで人は生きられない
建築で僕はそれを作れます」

山本理顕さん(横浜市の山本理顕設計工場で)

山本さんの地域社会圏
モデルを紹介する展示

都市部のマンション価格
高騰や住環境悪化、住人の
孤立……。住まいを巡る問
題は昨今、深刻さを増して
いる。山本さんは建築家の
立場から「都市の劣化」への
処方箋を書き続けてきた。
その設計思想を理解する
上で鍵となるのが「関」
という空間概念だ。建築に
おける公私の境界を意味し

「お客さんを迎える場所」
という。
例えば初めて手がけた公
共建築、熊本県営保田窪第
一団地(熊本市)では各住
戸を関とした。模型を見る
と分棟形式の建物が中庭を
取り囲み、各住戸を通らな
ければ中庭に出られない配
置であることが分かる。中
庭に入れるのは、住人が信

頼する人だけ」という仕掛
けで、共同体の基盤となる
信頼関係構築の必然性を設
計に組み込んだ。
山本さんが横浜国立大の
大学院生らと共に考案した
新たな居住形態「地域社会
圏モデル」も示唆に富む。
500人程度が生活に必要
な水回りの施設や発電機、
介護・託児スペースなどを
共有して暮らすアイデア
だ。各住戸には、ガラス張
りで開放的な「見世」と、
私的な空間「寝間」がある。
関である「見世」では、店
を開いたり趣味やおしゃべ
りに興じたりと様々な活動
が見聞きされることによ
り、他者との関わりが生ま
れることを想定している。
共同体を重視する設計思
想の原点となったのは、東
京大生産技術研究所時代に
原広司さん(今年1月、88
歳で死去)の研究室で得た
学びだという。地中海沿岸
や中南米、インドなど、世
界各地の近代化以前の集落
を調べて回った。そこで住
人たちの豊かさを目の当た
りにし、気付きを得た。「経
済的に貧しくとも人が助け
合う非常に強いコミュニテ
ィがあって、人々や各家
族はそこに属しているとい
う意識が強い。空間そのも

のが魅力的なコミュニテ
ィが生まれるように出来て
いる」
現代社会に欠けているも
のは何か。建築史や経済史
哲学をひもとく中で、「産
業革命以降の労働者住宅の
普及により家族のプライバ
シーを守ることに重きが
置かれ、共同体の自治に
参加する自由が奪われてき
た」との見解にたどり着い
た。建築で共同体を取り戻
そうと奮起したことが世界
的に評価され、プリツカー
建築賞受賞にもつながっ
た。
展覧会では実現しなか
った設計案も紹介してお
り、その背景を知ることが
できる。群馬県邑楽町役場
の新庁舎や熊本県天草市
本庁舎は、設計競技(コン
ペ)で最優秀賞に選ば
れたものの、首長交代に
よる政策の見直しで廃案と
なった。
集合住宅の東雲キヤナル
コート(東京都江東区)は、
職住一体のライフスタイル
を念頭に設計。建築空間と
しては実現したが、運用面
では当初の構想に「追いつ
いていない」状況という。
建築家の側から行政に問題
提起することの難しさもま
た伝わってくる。

(2025年9月30日 読売新聞朝刊より)

【1】山本さんが現代社会に欠けていると考えているものはなんですか。記事から抜き出して書き出しましょう。

【発展問題】共同体との結び付きをなくさないためにどんな建築空間があればよいか、アイデアを考えて書きましょう。

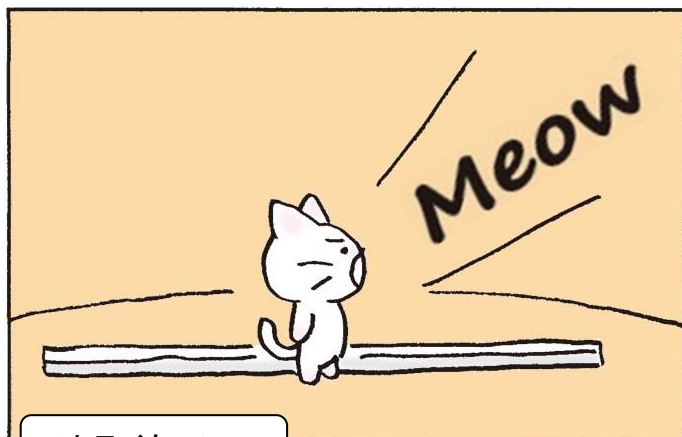
※回答は裏に書きましょう

共同体を作る山本さんの
構想はむしろ海外で先行し
て受け入れられており、展
示の最後ではベネズエラで
進行中のスラム街の開発プ
ロジェクトも紹介してい
る。
「政治哲学者ハンナ・ア
ーレントが言ったように
『共に住む』ことは全ての
原点です。人はコミュニテ
ィがなければ生きていけ
ない。僕はそれを作れます」

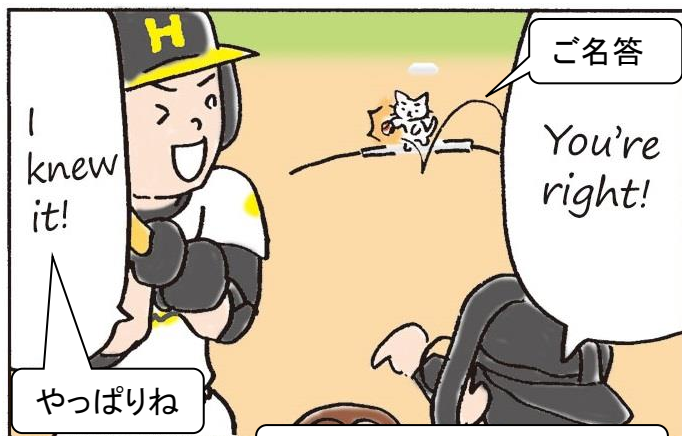
©The Yomiuri Shimbum

年 組 () 名前

サイン



ストライク、ツー



猫ピッチャー
Neko Pitcher
(132) Kenji Sonishi

◆「ミー太郎のスライダー」は、投げた直後に横を向いて鳴く直球「横ミューラー」でした。打者も魔球名を当てますが……。

mess around

時間を無駄に使う。ふざける。

「Quit (Stop) messing around」または「Don't mess around」という命令形で、よく使います。

★あわせて覚えよう★

- Don't be silly! ふざけないで
 - Stop fooling around.
- ふざけるな。まじめにやって

単語帳 I knew it!: やっぱり(知ってたよ)
quit: やめる、終わりにする already: 早く、
今すぐ(いだちを表す話し言葉)

★なぞってみよう★

mess around

Don't be silly!